

(表)

農業委員会の委員 推薦・応募書

記入例(応募の場合)

弘前市長 様

注意：住所と生年月日を除き公表することとなりますので、ご了承ください。

令和3年10月〇〇日

※推薦のみ、 推薦を する者 右欄のどちらかに記入	個人による推薦	ふりがな	ほか別紙のとおり
		住所	
		職業	
		年齢	満 歳 (年 月 日生まれ)
		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	法人・団体による推薦	名称	
		目的	
		代表者又は 管理人の氏名	
		構成員の数	
		構成員たる資格	
		法人・団体の性 格を明らかにす る事項	
推薦を受ける者又は応募する者	ふりがな	弘前 花子 (ひろさき はなこ)	
	住所	弘前市大字高杉字三波12-35	
	職業	農業	
	年齢	満40歳 (昭和△△年△△月△△日生まれ)	
	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	
	経歴		△△年△△月 藤代の農家に生まれる
			××年××月 ××農業高校に入学 (△△年卒)
			●●年●●月 ●●農園で研修 (●●年間)
			▲▲年▲▲月 家族経営協定の締結
	地域活動 (農業 関係団体や町会 等で地域への ような活動をし ているか)		◇◇年◇◇月 認定農業者に認定
			△△年△△月△△日 JAつがる弘前女性部 料理教室での講師等として活動
			●●年●●月●●日 ○○地区消防団 入団
		□□年□□月□□日 ○○町会 入会	
		会計として活動	

(裏)

推薦を受ける者又は応募する者	農業経営の状況 (又は従事する 事業等、その者 と農業との関連 についての説明) ※農業者でない場合は、市の農業の現状について、自身の考えを記載	田1. 4ヘクタール、減農薬栽培米、大豆 畑0. 1ヘクタール、自家用野菜 樹園地2. 5ヘクタール、無袋りんご7割と有袋3割 義父のもとで、夫と農業に専従 主に米を担当、直売施設やネットで販売 りんごは無袋や黄色りんごの導入により省力化
	農業分野に関する資格の取得・研修等の受講	・JAつがる弘前農業後継者研修第〇期 (××年××月～△△年△△月) ・野菜ソムリエ取得(●●年●●月) ・りんご病害虫マスター(◇◇年◇◇月)
	耕作している地域の農地・農業についての考え	私が耕作している地域は、山間部ではりんごなどの果樹栽培、平野部では、水稻が主作となっています。 しかし、農業従事者の高齢化が進んでおり、それに伴い農地が放棄され、耕作されていない農地が目立ってきました。耕作放棄地は、病害虫の発生源となり、周辺の農地にも甚大な被害を及ぼすことから、地域が一丸となって取り組む必要があると考えます。
	認定農業者の該当の別	<input checked="" type="checkbox"/> 認定農業者である <input type="checkbox"/> 否
推薦又は応募の理由及び委員としての抱負	私、弘前花子は、□□年に農家に嫁ぎ、〇〇年間農業に従事してきました。その中で、自身の経営だけでなく、様々な人に農業を知ってもらうため、△△△や×××といった活動を行ってきました。町内会や消防団にも加入し、地域活動にも積極的に取り組んでいます。高齢化などにより耕作できない農地が増えているという話をよく聞きます。耕作放棄地の増加は、景観を損ねるだけでなく、周辺の畑にも悪影響を及ぼします。農業に従事するものとして、1つでも多くの放棄地を解消したいという思いがあり、これまでの経験を活かして農業委員として活動できないかと考え、応募しました。	
委員活動の希望区域	高杉、藤代	
推進委員への推薦又は応募	<input checked="" type="checkbox"/> 推進委員にも推薦又は応募する <input type="checkbox"/> 否 推薦又は応募を行う区域 ()	

■ 問い合わせ及び提出先

弘前市農林部農政課 電話0172-40-0656